船場で地震が起きた時、
一人の命もなくさないために！

地域における防災訓練&防災セミナー 第2弾

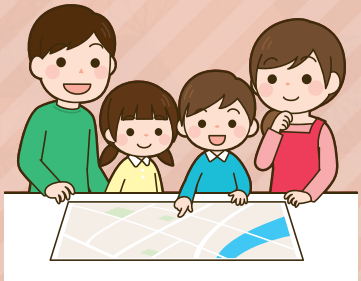
起震車や応急手当を体験！

日時：2022年10月5日(水) **無料**
14:00～16:00

場所：真宗大谷派難波別院(南御堂)
同朋会館
大阪市中央区久太郎町4-1-11　　定員：80人

街中 みんなで防災！

関西圏は「大阪府北部地震」や「阪神・淡路大震災」で大きな被害を受けたほか、「南海トラフ地震」も近いうちに発生すると言われています。実際に船場で災害が起きたらどんな行動をとるか、どんな備えが必要か、セミナーを通して考えてみましょう。



避難所備蓄物資の展示 一例

実際にふれてみてください

主催：本願寺津村別院(北御堂)
協力：大阪市中央区役所、大阪市中央消防署、真宗大谷派難波別院(南御堂)
問い合わせ：本願寺津村別院 災害対策担当 井川信順　TEL/06-6261-6796

スペースの確保、検温など感染対策を行います。安心してご来場ください。
当日は、マスク着用の上、発熱など体調が優れない方の参加はご遠慮ください。

お申し込みはこちら→
定員(80人)に達し次第、締め切ります。

当日のスケジュール

13:30　受付開始

14:00　中央区役所 防災担当による講話

「街中 みんなで防災に取り組もう」

14:30　防災体験　※防災体験は自由に参加できます。周辺にお住まいの方、お勤めの方など、気軽にご参加ください。大人数の場合は事前にご連絡ください。

ARによる煙体験、水消火器による消火訓練

AEDの使用方法と応急手当、起震車による地震体験

16:00　終了

北御堂が答えます！地震に備えるQ&A

備えについて

Q 災害対策として、まずは何をするべき？

A 家具の転倒防止やガラスの飛散防止など、ケガをしないための対策です。大ケガをすると避難が難しくなる上、災害時はすぐに治療が受けられるとは限りません。

Q 非常用備蓄は、何をどれくらい備える必要がある？

A 電気・水・ガスなどのライフラインが止まる想定をして、飲料水、食料、非常用電灯、カセットコンロとボンベ、携帯トイレなどを備えましょう。南海トラフ地震では被害が広範囲に及び支援が遅れることも想定されるため、1週間分の備えが必要と言われています。

避難所について

Q 災害時避難所とは？

A 地震により住居を失くした人などが、一時的に寝る場所や食事の提供を受けることができる場所です。避難者が中心となり、避難所運営をする必要があります。新型コロナの感染防止のため受入可能人数は減少しているので、本当に避難が必要な人以外は在宅避難をお願いします。

Q 在宅避難とは？

A 発災後も、そのまま自宅などで生活をすることです。不特定多数との共同生活よりも、プライバシーが守られ快適に生活できます。

※オフィスや事業所でも、従業員がケガをしないための対策や備蓄など、しっかり備えを進めましょう。

災害用備蓄品〈例〉
～チェックしてみましょう～

- ☐ 飲料水
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 軍手
- ☐ 非常食
- ☐ カセットコンロ
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ タオル
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ モバイルバッテリー

もっと詳しく知りたい、聞きたい方は、ぜひセミナーにご参加ください！

HPでも防災に役立つ情報を公開中です。